



モジュールの取り付けおよびアップグレード

この章では、次のセクションで Cisco Catalyst IR8340 高耐久性シリーズ ルータのモジュールの取り付けおよびアップグレードする方法について説明します。



(注) モジュールを交換する前に、[安全上の警告 \(1 ページ\)](#) を読み、注意があるときは電源の接続を外します。

- [安全上の警告 \(1 ページ\)](#)
- [IR8340 ルータへのネットワーク インターフェイス モジュールの取り付け \(2 ページ\)](#)
- [プラグブルモジュールの取り付け \(3 ページ\)](#)
- [mSATA SSD の取り付け \(6 ページ\)](#)
- [SFP モジュールの装着 \(7 ページ\)](#)

安全上の警告



警告 Only trained and qualified personnel should be allowed to install, replace, or service this equipment. ステートメント 1030



警告 Do not work on the system or connect or disconnect cables during periods of lightning activity. ステートメント 1001



警告 Read the installation instructions before connecting the system to the power source. ステートメント 1004

**警告**

Hazardous network voltages are present in WAN ports regardless of whether power to the unit is OFF or ON. To avoid electric shock, use caution when working near WAN ports. When detaching cables, detach the end away from the unit first. ステートメント 1026

IR8340 ルータへのネットワーク インターフェイス モジュールの取り付け

IR8340 ルータにネットワーク インターフェイス モジュール (NIM) を取り付けるには、次の手順を実行します。

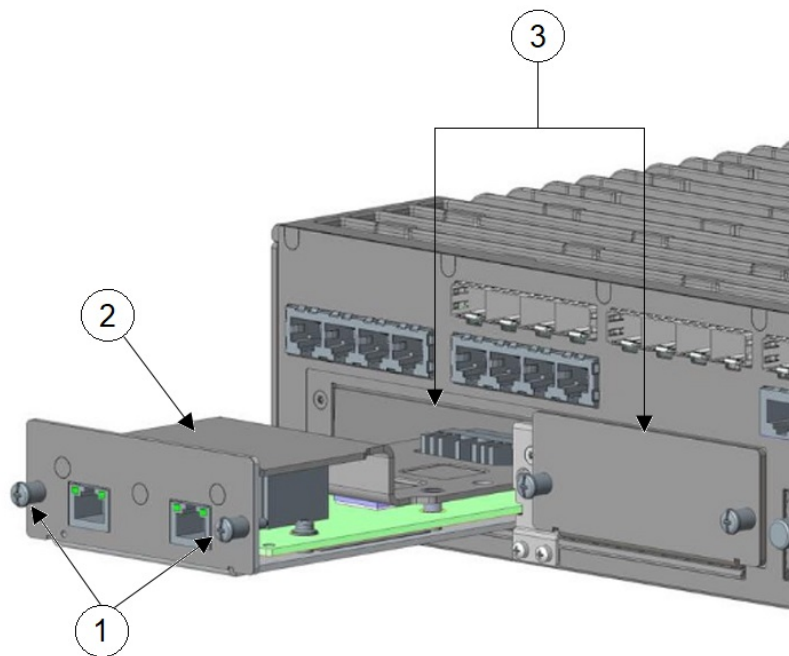
始める前に



(注) モジュールをルータに取り付ける前に、ルータの電源が完全にオフになっていることを確認してください。モジュールを挿入または取り外すたびに、最初にルータの電源をオフにする必要があります。モジュールをスロットに挿入またはスロットから取り外した後に、電源をオンにします。

ステップ 1 2本の非脱落型ネジを緩めて、使用する NIM スロットに取り付けられている、ブランク前面プレートを取り外します。ブランクの前面プレートは、あとで使用できるよう保管しておきます。

ステップ 2 次の図に示すように、ルータの NIM スロットのいずれかに NIM を挿入します。



1	モジュールの非脱落型ネジ (2)	2	NIM モジュール
3	NIM モジュールスロット		

- ステップ 3** エッジコネクタがルータのバックプレーンのコネクタに完全に装着された手応えがあるまで、モジュールを所定の位置に押し込みます。
- ステップ 4** モジュールを正しく挿入したら、2本の非脱落型ネジを締めてモジュールプレートをルータに固定します。ネジは 5 ~ 7 in-lb のトルクで締める必要があります。
- ステップ 5** モジュールをネットワークに接続し、ルータのスロットの電源を再び投入します。

プラグابلモジュールの取り付け

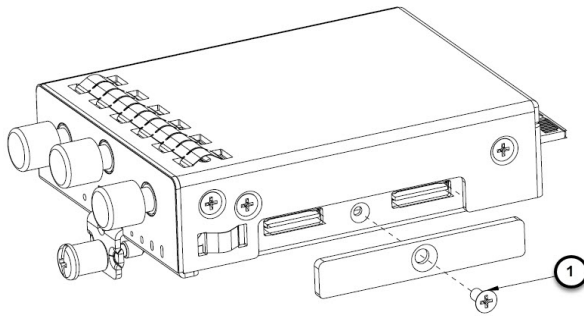
IR8340 ルータに Pluggable Interface Module (PIM) を取り付けるには、次の手順を実行します。

始める前に



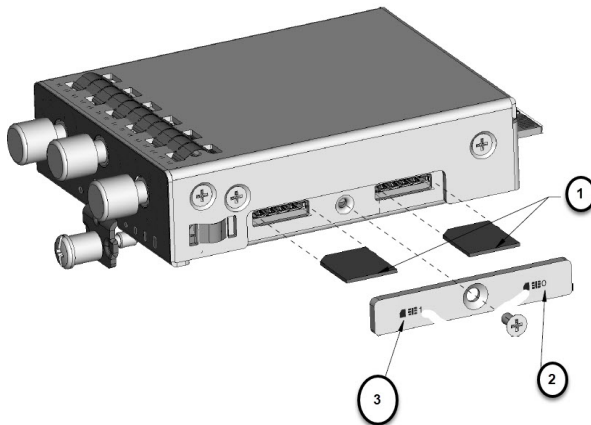
- (注) モジュールをルータに取り付ける前に、ルータの電源が完全にオフになっていることを確認してください。モジュールを挿入または取り外すたびに、最初にルータの電源をオフにする必要があります。モジュールをスロットに挿入またはスロットから取り外した後に、電源をオンにします。

- ステップ1 2本の非脱落型ネジを緩めて、使用する PIM スロットに取り付けられている、ブランク前面プレートを取り外します。ブランクの前面プレートは、あとで使用できるように保管しておきます。
- ステップ2 ブランクプレートをデバイスから引き抜きます。
- ステップ3 モデムに適用可能なマイクロ SIM をデバイスに挿入して、セルラーモデムモジュールを使用できるようにします。SIM スロットをカバーするアクセスプレートを固定しているネジ (1) を取り外します。No.1 プラスドライバを使用します。アクセスプレートは、次の図に示すように、モジュールの側面にあります。



- ステップ4 次の図に示すとおりに SIM (1) を取り付けます。該当するスロット番号と SIM の向きをメモしておきます。

図 1: SIM の取り付け



1	マイクロ SIM	2	SIM 0 (デバイスに近い方)
3	SIM 1 (デバイスから離れた方)		

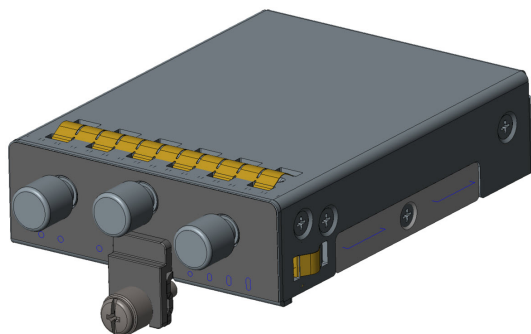
- ステップ5 各 SIM をカチッという音がするまで押し込みます。SIM を取り付けたら、取り外したアクセスプレートを #1 プラスドライバで再度取り付けます。2.8 ~ 3.8 in-lb のトルクで締めます。

(注) カバーとネジ穴の位置が合っていることを確認します。

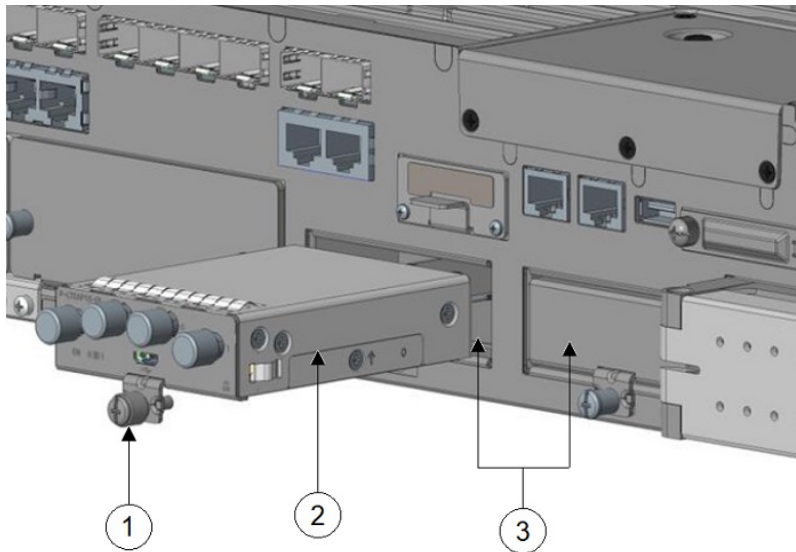
- ステップ 6** プラグブルモジュールに USB ポートがある場合、USB カバーが正しく取り付けられていることを確認します。ポートを塞ぐ段差のある USB カバー (1) を USB ポート (2) の上に取り付けます。次の図に示すように、USB カバーの半円部分は、ラッチロックのネジの締め込み部分に適合します。



- ステップ 7** ラッチロックのネジを 2.8 ~ 3.8 in-lb のトルクで締めます。次の図は、USB カバーの取り付けが完了した状態を示しています。



- ステップ 8** プラグブルモジュールをルータにはめ込みます。ラッチロックのネジとルータ前面のネジ穴が揃うようにします。プラグブルモジュールをデバイスにしっかりと押し込んでから、ラッチロックのネジに 5 ~ 7 in-lb のトルクをかけて締め付けます。



1	モジュールの非脱落型ネジ	2	PIM モジュール
3	PIM モジュールスロット		

ステップ 9 アンテナをプラグインモジュールのポートに取り付けます。アンテナのタイプによって手順が異なります。アンテナのマニュアルで設置時の適切な方向とトルクを確認してください。

ステップ 10 ポートにアンテナが取り付けられていない場合は、コネクタにキャップが取り付けられていることを確認します。

mSATA SSD の取り付け

Mini-SATA または mSATA は、ソリッドステートドライブ (SSD) など、名刺に近いサイズの小型フォームファクタドライブでのより効果的なシリアル ATA (SATA) 統合を可能にするロープロファイルインターフェイス コネクタです。



(注) リストストラップや静電気防止マットなどの適切な静電気除去法を使用していることを確認します。

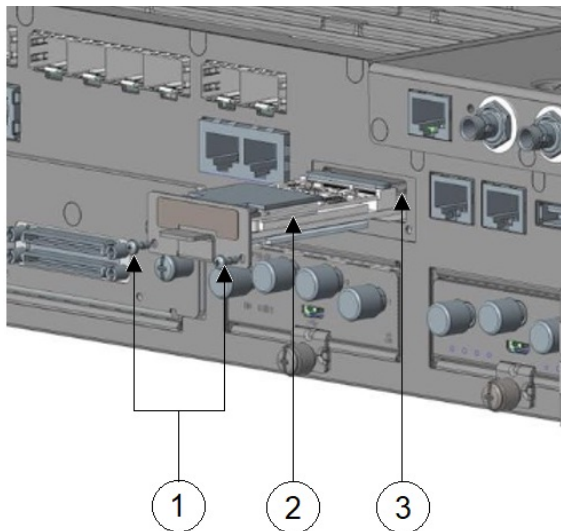


注意 モジュールの取り外しまたは取り付けを行う前に、デバイスの電源がオフになっていることを確認します。

モジュールを取り付けるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 mSATA スロットのカバーを固定している 2 本の非脱落型ネジを取り外します。

ステップ 2 mSATA SSD モジュールを次の図に示されているように、ルータのスロットに差し込みます。



1	モジュールの非脱落型ネジ (2)	2	mSATA モジュール
3	mSATA モジュールスロット		

ステップ 3 モジュールを正しく挿入したら、2 本の非脱落型ネジを締めてモジュールプレートをルータに固定します。ネジは 2.3 ~ 2.9 in-lb のトルクで締める必要があります。

SFP モジュールの装着

このセクションでは、光ギガビットイーサネット接続のために、オプションの Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールを Cisco IR8340 ルータに取り付ける方法について説明します。

サポートされている SFP SKU のリストについては、[表 1](#)を参照してください。

SFP モジュールはルータのケーブル側パネルのスロットに装着します。Cisco IOS ソフトウェアで選択する場合、WAN または LAN 用にポート **gigabitethernet 0/0** または **0/1** が割り当てられます。デフォルトは組み込みの RJ-45 1000 Base-T コネクタで、このポートで有効になっています。



ヒント シスコ認定の SFP を使用しているかどうかを判断するには、Cisco IOS プロンプトで **show inventory** コマンドを使用します。

レーザーの安全に関する推奨事項

光 SFP は光ファイバ信号を生成するために少量のレーザー光を使用します。ケーブルがポートに接続されているかに関わりなく、常に対象ポートから光を送信し受信しています。

SFP モジュールの装着

Cisco IR8340 ルータに SFP モジュールを取り付けるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ルータコネクタに SFP をスライドし、所定の位置に固定されるまで挿入します。

ヒント SFP で留め具式ラッチを使用している場合、SFP モジュールの上にハンドルがある必要があります。

注意 ケーブル接続の準備ができていない場合、SFP から光ポートのプラグを外さないでください。

ステップ 2 ネットワーク ケーブルを SFP モジュールに接続します。

SFP モジュールの取り外し

Cisco IR8340 ルータから SFP 取り外すには、次の手順を実行します。

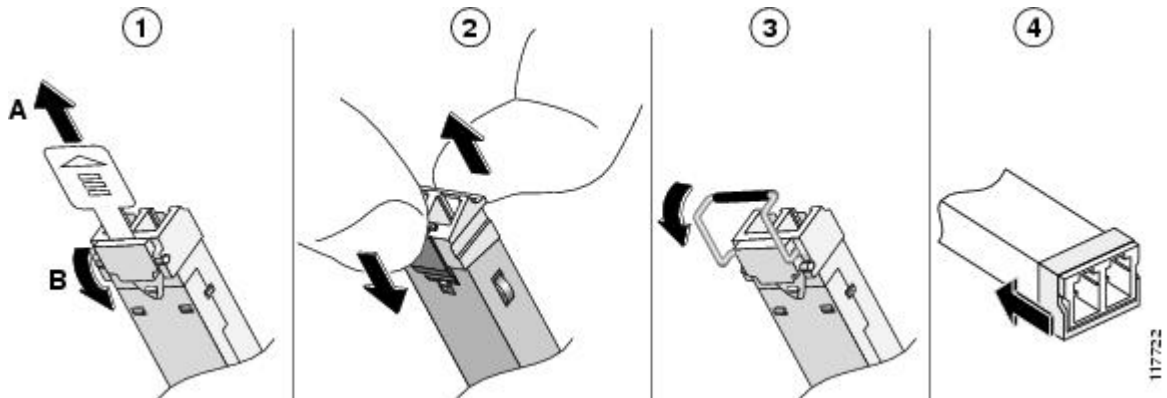
ステップ 1 SFP からすべてのケーブルの接続を外します。

注意 多くの SFP に使用されているラッチメカニズムでは、ケーブルが接続されているときは SFP は所定の位置でロックされます。SFP を取り外すときに、ケーブル接続を引っ張らないでください。

ステップ 2 SFP ラッチを外します（次の図を参照）。

(注) SFP ポートのモジュールのセキュリティを保護するために、SFP モジュールは多様なラッチデザインを使用しています。ラッチデザインは SFP のモデルまたはテクノロジーの種類に関係ありません。SFP のテクノロジーの種類とモデルについては、SFP の側面にあるラベルを参照してください。

図 2: SFP ラッチ メカニズムの接続解除



1	スライド式ラッチ	3	留め具式ラッチ
2	スイング & スライド式ラッチ	4	プラスチック カラー式ラッチ

ヒント 指が届かない場合、ペン、ドライバ、または他のまっすぐな道具を使用して、留め具のハンドルを慎重に外します。

ステップ 3 SFP の両端を持ち、ルータから取り外します。

